

県政へ再挑戦、あと23票！！

森田としかず

だより



森田としかず後援会 平成 18 年 11 月 5 日発行 Vol.9

ただ今「熊谷ならまだまだいける！ 10%増量キャンペーン」準備中です！
ご期待ください！

森田としかずは 日本一子どもの多いまちを目指して、
子育てを応援します！！

日本は早くも人口減少の時代を迎えることとなりました。このような中、熊谷が発展を続けて行くには、若い世代の人々や子どもたちが多く集うまちになる必要があります。「熊谷で子育てをしてみたい！」そんな環境が整えば、子育て世代の若い夫婦が熊谷に集まるようになり、子どもたちの歓声あふれる地域になるはずです。いつまでも活気のあるまちを目指して、森田としかずは以下のような政策目標を掲げます。

- ① 保育所の定員を10%増やす。
- ② 子育て支援の企業数を10%増やす。
- ③ 子育て支援センターの増強。

森田としかずは現在3人の娘を持ち、子育て真っ最中です！そんな状況の中で思うのは、「子育ては大変な仕事である」ということです。子育てが父母だけの負担でなく、行政や企業含め、地域社会で子どもを育てていくという環境が整えば、きつともっと子どもを産んでもいいという人が増えるはずです。

森田としかずは先日、子育て中のお母さん方に集ってもらい、ご意見を伺う機会を得ました。その中で多かったのは、「夫にもっと子育てに参加してほしい」ということでした。これは、第一に父親の意識の問題ではありますが、勤務先の企業が理解を示し、育児休暇やフレックスタイム制等を取り入れることにより、父親が子育てにもっと参加できる機会をつくりやすい環境を用意することが可能となります。まずは父親が子育てをしている母親（妻）のことを理解し、子育てに参加する。そして、地域としては、子育てに対する肉体的、精神的な負担を軽減できるよう、保育所や子育て支援センターを整備する。地道ですが、このような取り組みを重ねることで、熊谷はもっと子育てのしやすいまちになるはずです！

ご意見、お待ちしております！！



Eメール: mt@morita-kouen.net

mixi: 「もったん」、「森田俊和」で検索

www.morita-kouen.net

討議資料